

一般質問 質問事項・答弁の要旨

(仮称)子育て・子育て いきいき計画について

生活者ネット・市民クラブ 片畑 智子

問) 国の方針に則り、福祉のみならず保健、教育、医療、労働、環境、建設や道路、協働やまちづくりなど、あらゆる分野での取り組みを明記した「総合的な計画」との確認でよいか。

子ども部長) 全体を網羅した計画を考えている。

問) であるならば、当然、子育て・子育てにかかわる学校での取り組みも明記すべきと思うが。

子ども部長) 地域と関連する部分は入ると思うが、教育内容については別だと思っている。

問) そういう線引きが、国分寺市の子どもや家庭に対して共に支援する立場である「学校」と「市長部局」において、お互いにどのような取り組みをしているのか共有できない現状を生み出している。これまでも市の方針や計画で、環境教育や人権教育など教育内容にかかわる学校での取り組みが明記されてきたが、なかなか連携した実行がされていない。支援する側が縦割りの壁を崩せない、不整合な状況のまま、総合的かつ複合的な支援を実行できるとは思えない。この件については、公募市民を含めた策定委員会で検討していただきたい。

子ども部長) そのようにしたいと思う。

問) 計画策定にあたっては、子どもの成長の各ステージと照らし合わせ、総合的・体系的に施策や事業の見直しを行ってほしい。その際には、行政サービスの拡充だけで課題解決を図るのではなく、国の方針にある「地域の社会資源の効果的な活用の視点」と、様々な担い手による支援を広げていく「協働の視点」を持つことを求めたいが、いかがか。

子ども部長) その視点を持って進めていく。

学齢期の移動支援事業について

生活者ネット・市民クラブ 多良 京孝子

問) 障害者自立支援法の地域生活支援事業では市長が認めるときを除き、学校への移動支援は認められてない。しかし親の急病等の緊急時の利用の要望は非常に高く、基礎自治体として制度の隙間にある当事者の立場に立ったきめの細かい支援が必要であると考え。いかがか。

福祉保健部長) 対応できるようにしていきたい。

問) 相談可能な体制があることの周知が必要。

教育長) 教育委員会から学校のほうに周知をして、そういう事態が起きた時に校長、教職員からお話するのが一番身近であるように感じる。

問) ニーズを把握し、市としてどこまで何をや

るのかを精査したうえで、今年度策定協議会がスタートする障害者計画に盛り込むべきでは。福祉保健部長) 計画の中に位置づけをする。

☆都市農業振興について☆

問) 今年度「国分寺市都市と農業が共生するまちづくりモデルプラン」の行動計画が策定される。策定の段階から教育委員会と連携し、学童農園拡充、学校給食の地場野菜の使用率アップ、各学校の環境教育に都市農業の視点の周知を。

教育長) プランの中に教育委員会との連携が盛り込まれており積極的に進めていく分野である。

☆子どもの施設の苦情処理相談体制について☆

問) 学童保育所、保育園、つくしんぼ、子ども家庭支援センターに第三者委員制度が設置されたが、しくみがわかりづらい上に利用者への周知が徹底されていない。新年度の説明会では広報物の配布と口頭の説明をルールとして位置づけ、さらに市のホームページにも載せるべき。

子ども福祉部長) そのように対応する。

必要なサービスが利用できる 介護保険制度に

日本共産党国分寺市議団 中山 幸子

●西武国分寺線踏切の安全対策は早期に

問) 道路3・4・6号線と国分寺線踏切の立体化に再検討を求めた議会の付帯決議。その上での周辺も含めた安全対策の具体案を示せ。

答) 付帯決議は重く受けとめ、平面交差が一番と判断する。日立門から府中街道まで相対的に考え、二重投資でないように秋までに結論出す。

●介護保険料を下げ、施設サービス拡充を

問) 前期からの課題の緊急ショートの進捗と入居待ちの特別養護老人ホームの整備計画は。

答) 「ショート」は今年度中に。特養は多床室含め129床で計画。参入業者の土地確保への支援等の条件整備が必要。都の支援も要望していく。

問) 介護保険制度はサービス増すと保険料が高くなる仕組み。多摩26市中値上げは国分寺市含め5市。今回は基準額で110円の値上げ。65歳以上の保険料で積み立てている、残りの準備基金と財政安定化基金を使い保険料の値下げを。

答) その見方もある。動向見て都に要望する。

問) 国の支出金・調整交付金5%全額で299円引き下げられる。あらゆる努力を。

答) 市長会として動いている。国にも要望する。

問) 市のアンケートでも利用料軽減の声は多い。多摩13市で実施している軽減策の復活を。

答) 今後PRに努める。

●生活保護面接相談員の体制強化を

問) 雇用破壊で生活困窮者が増加。3月議会でも増員を求めた。なぜこの時期なのか非正規職員なのか。相談室の増設と相談員は正規職員で。

答) 急激な相談増が想定できずに7月からの配置。国の補助金を活用し嘱託職員で対応。

市民の生活と環境を守る まちづくりを

日本共産党国分寺市議団 やなぎ 孝義

《3・2・8号線(36m道路)について》

問) まちづくりは住民合意が大前提だが、市の基本姿勢は。

担当部長) 「合意無くしてまちづくりなし」の指摘は、市も同様に考える。都に対してもその立場で求めていく。

問) 大気汚染・騒音など懸念される環境悪化についての対策は。

担当部長) 基準は満たされると考える。

※この後、大気汚染物質についての都自身の総量削減目標が達成されていないこと、環境影響評価に対して市民と市長が求めた改善意見の実行が極めて不十分であることを指摘し、市民の健康を守る強い姿勢を求めました。

問) 既存の生活道路・通学路との接続について、市は方針を持っているのか。

担当部長) 庁内での案が決定した。

問) 接続できる道路は何本あるのか。

担当部長) 案では基本的な考え方のみで、一本一本の接続計画は今後の課題だ。

※毎日使っている道路がどうなるのかということが、市民にとって切実な問題であることを指摘し、具体的な方針確立を求めました。

《ぶんバス等、公共交通の改善について》

問) ぶんバスの今後についての考えは。

都市建設部長) 新ルートを設置と、既存ルートの分割・増便が現状の課題となっている。

問) 民間既存バス路線の改善について、市としての今後の取り組みは。

都市建設部長) 事業者への要請も行ってきた。引き続き解決に向け努力する。

閉会中の委員会等開催予定

委員会はどこでも傍聴できます。

平成21年第2回定例会～第3回定例会の間に開催する委員会等は下記のとおりです。

記

6月4日(木) 代表者会議
12日(金) 議会運営委員会
23日(火) 代表者会議
7月14日(火) 総務委員会
15日(水) 厚生委員会
16日(木) 文教委員会
17日(金) 建設環境委員会
22日(水) ごみ対策特別委員会
23日(木) 国分寺駅周辺整備特別委員会

27日(月) 議会運営委員会

※委員会は市役所第1庁舎3階第1・2委員会室で、午前9時30分(17日の建設環境委員会は午後1時30分)から開始予定です。

議事担当 (内468)